

LB 許可しないUSBメモリー・ハードディスクをシャットアウト
USBロック *Plus*

販売元：株式会社ライフボート

開発元：株式会社エスコンピュータ

利用ガイド

『LB USBロック Plus』のプログラムと利用ガイドは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一部を株式会社ライフボートの事前の明示的な許可なく複製したり、転送したり、格納したり、他のコンピューター用に変換したり、あるいは他の言語に翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

『LB USBロック Plus』は株式会社ライフボートの商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

この利用ガイドに記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。

株式会社ライフボートは、本利用ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

EDITION

September 2023

Copyright© 2023 by Lifeboat, inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

PUBLISHED BY

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <https://www.lifeboat.jp/>

目次

1. LB USBロック Plusについて	4
2. インストール	5
3. ライセンスキーの入力と初期設定	8
4. 動作の確認	15
5. 設定の変更	16
6. アンインストール	20
7. 設定情報のエクスポート/インポート	22
8. サイレントインストール	24
9. 設定情報の自動インポート	25
10. ホワイトリストのCSVエクスポート/インポート	27

1. LB USBロック Plusについて

『LB USBロック Plus』は、USBフラッシュメモリー等のUSB接続ストレージの使用をコントロールするためのツールです。簡単な設定画面から、使用を許可するストレージを制限したり、読み取り専用設定をしたりすることができます。

<動作環境>

○対応OS	日本語Windows 11/10/8.1/7
○対応機種	上記OSが正常に動作するPC(PC/AT 互換機)
○CPU	1GHz以上のインテルPentium互換CPU
○メモリー	4GB以上(32bit版Windowsは1GB以上)
○ディスク容量	20MB以上
○その他	USB機器および利用可能なUSBポート(2.0以上)

<注意事項>

- ストレージ領域を持たないUSB機器の制御をすることはできません。
- 機器の識別情報(バンダーID、プロダクトID、シリアル番号)を持たない機器を個別に制御することはできません。
- 「LB USBロック」、「LB USBロック Pro」がインストールされた環境に本製品をインストール、またはアップグレードすることはできません。
- USBハブを使用すると、ホワイトリストへの登録ができない場合や、許可されているUSBストレージが使用できない場合があります。
- USB機器を制御する他のソフトウェア製品と併用することはお勧めしません。
- パスワードの紛失や、認証用USB機器を紛失/破損した場合の対応に関するお問い合わせは、受け付けることができません。管理には十分ご注意ください。
- アクセスの制御、設定の変更はセーフモードでの実行時には動作しません。

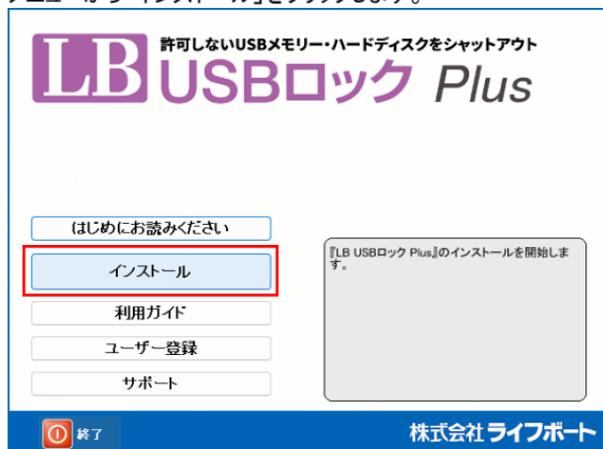
<ライセンスについて>

- 本製品は1ライセンスにつき1台のPCにインストールして使用することができます。
- 本製品を複数台のPCにインストールして使用する場合、使用台数分のライセンスをご購入いただく必要があります。

2. インストール

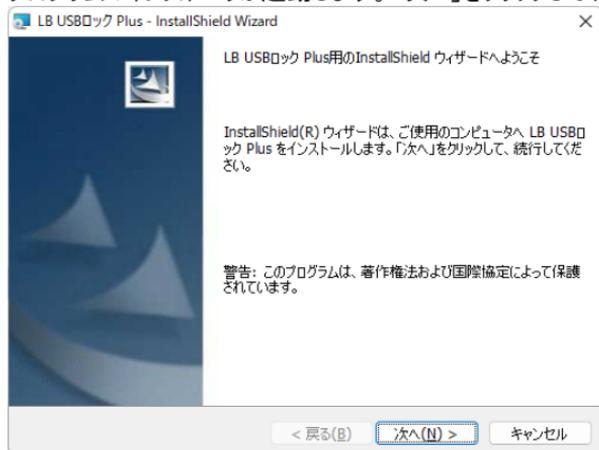
インストールは管理者権限でWindowsにログオンしてから実行します。

1. メニューから「インストール」をクリックします。

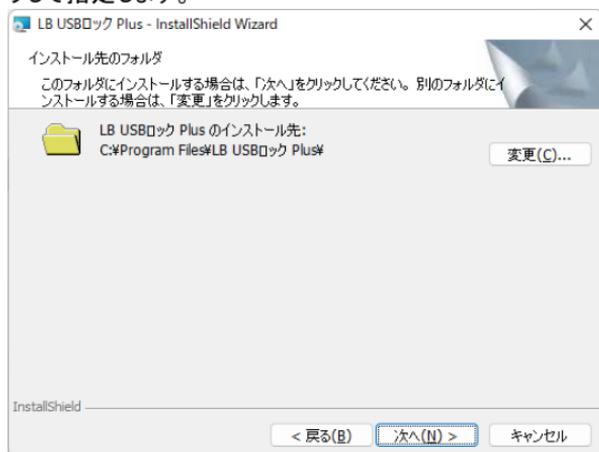


メニュー画面の説明	
はじめにお読みください	Readme.txtを開きます。インストールを開始する前にお読みください。
インストール	『LB USBロックPlus』のインストーラが起動して、インストールを開始します。
利用ガイド	今ご覧いただいているドキュメントです(PDF版)。
ユーザー登録	インターネットに接続してライフポートのユーザー登録ページを開きます。
サポート	メニュー画面 2 ページ目に移動して、サポートに関する情報を表示します。

2. プログラムのインストーラが起動します。「次へ」をクリックしてください。



3. インストール先を確認して「次へ」をクリックします。変更する場合は、「変更」をクリックして指定します。



4. 「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



5. 完了をクリックすると、システムの再起動を促すメッセージが表示されます。システムを再起動してください。



再起動後に、ライセンスキーの入力と初期設定を行ってください。

3. ライセンスキーの入力と初期設定

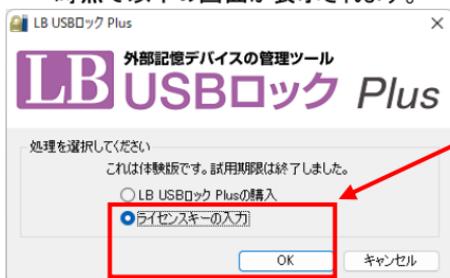
『LB USBロック Plus』を使用するためには、ライセンスを有効にする必要があります。

ライセンスキーを入力するまでは、7日間有効な体験版として動作します。体験期間の終了後はプログラムが動作しなくなります。

<ライセンスキーの入力>

1. インストール完了後、システムを再起動してWindowsにログオンすると、『LB USBロック Plus』のライセンス登録画面が表示されます。

※ Windows 10のタブレットモードやWindows 8.1の場合、デスクトップが表示された時点で以下の画面が表示されます。



「ライセンスキーの入力」を選択した状態で「OK」をクリックします。

○LB USBロック Plusの購入 ---ブラウザが起動して購入の案内が表示されます。
○キャンセル --- 体験版として動作します。

ライセンスキーの入力をしない場合、Windowsの「スタート」から「LB USBロック Plus」を選択すると、上のメッセージが表示されますが、再度「キャンセル」をクリックすると「初期設定」画面が表示されます。本ドキュメントの「初期設定」をご参照ください。

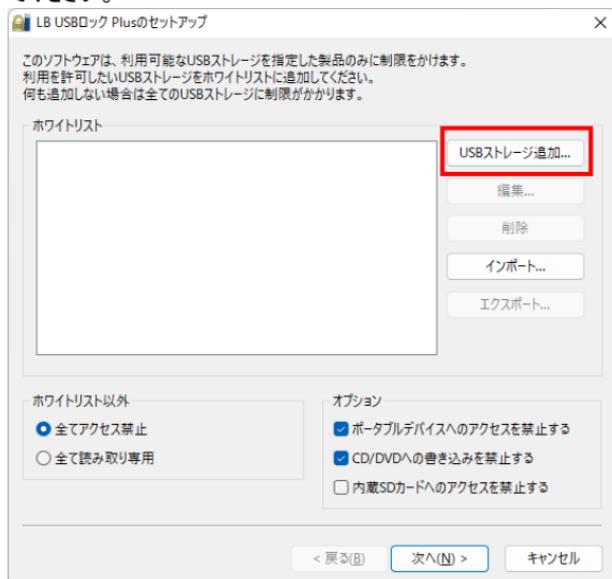
2. ライセンスキーを入力して「OK」をクリックすると、ライセンスが有効になり、初期設定画面が表示されます。



<初期設定>

『LB USBロック Plus』を利用する前に、はじめに初期設定をする必要があります。初期設定では設定変更時の認証方法やホワイトリストの設定を行います。

1. 使用を許可するUSBストレージをPCに接続して、「USBストレージ追加」をクリックしてください。



セットアップ画面の説明

ホワイトリスト	登録済のUSBストレージがこのリストに表示されます。初期状態では、リストには何も表示されません。
全てアクセス禁止	リストに表示されたもの以外のUSBストレージはアクセス禁止となります。
全て読み取り専用	リストに表示されたもの以外のUSBストレージは読み取り専用となります。
ポータブルデバイスへのアクセスを禁止する	USBストレージとして認識されない、一部のスマートフォンや携帯音楽プレーヤーのアクセスを禁止します。
CD/DVDへの書き込みを禁止する	CD、DVDディスクへの書き込みを禁止します(USB接続以外のドライブも含まれます)。
内蔵SDカードへのアクセスを禁止する	内蔵SDカードスロットの利用を禁止します。

2. 「USBストレージ追加」画面が表示されます。「参照」をクリックしてください。

USBストレージ追加

ホワイトリストに追加するUSBストレージを指定してください

USBストレージ情報

ベンダーID: 0x:

プロダクトID: 0x:

シリアル番号:

製造者:

プロダクト:

参照...

属性

読み取り専用

OK キャンセル

「USB ストレージ追加」に表示される内容

ベンダーID:	ハードウェアのベンダーID	
プロダクトID:	製品のID番号	
シリアル番号:	製品のシリアル番号	製造者、製品名が表示されます(必要に応じてチェックしてください)
製造者:	ハードウェアの製造会社名	
プロダクト:	製品名	

3. 現在接続中のUSBストレージが表示されます。ホワイトリストに追加するストレージを選択して「OK」をクリックします。

USBストレージ

USBストレージ一覧

USB 大容量記憶装置

詳細情報

USB 大容量記憶装置

└ Sony Storage Media USB Device

└ ボリューム - (E)

└ E:

ベンダーID: 0x054C

プロダクトID: 0x05BB

シリアル番号: EBA2607FFF0511

製造者: Sony

プロダクト: Storage Media

OK キャンセル

4. 選択したUSBストレージのベンダーID、プロダクトID、シリアル番号が表示されます。登録内容が正しければ「OK」をクリックします。

USBストレージ追加

ホワイトリストに追加するUSBストレージを指定してください

USBストレージ情報

ベンダーID: 0x 054C

プロダクトID: 0x 05BB

シリアル番号: EBA2607FFF0511

製造者: Sony

プロダクト: Storage Media

参照...

属性

読み取り専用

OK キャンセル

「製造者」と「プロダクト」は通常チェックする必要はありませんが、ホワイトリストの識別用に便利です。

5. 登録内容を確認して、「次へ」をクリックします。複数のストレージを登録する場合は、再度「USBストレージの追加」をクリックしてリストに登録してください。

LB USBロック Plusのセットアップ

このソフトウェアは、利用可能なUSBストレージを指定した製品のみ に制限をかけます。
利用を許可したいUSBストレージをホワイトリストに追加してください。
何も追加しない場合は全てのUSBストレージに制限がかかります。

ホワイトリスト

USB VID:0x054C PID:0x05BB シリアル番号:EBA2607FFF0511

USBストレージ追加...

編集...

削除

インポート...

エクスポート...

ホワイトリスト以外

全てアクセス禁止

全て読み取り専用

オプション

ポータブルデバイスへのアクセスを禁止する

CD/DVDへの書き込みを禁止する

内蔵SDカードへのアクセスを禁止する

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. 設定変更やアンインストールに対する保護を設定します。

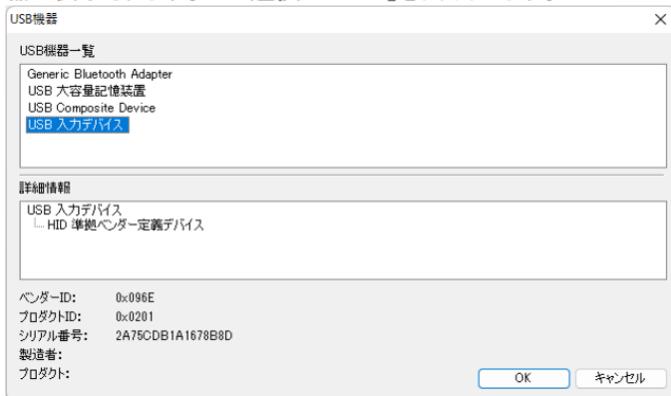
①「パスワード」、②「USBキー」、③「パスワードとUSBキーの2要素認証」の3通りから選択して、「次へ」をクリックします。

①パスワードは必ず入力してください。必要ない場合、設定完了後にチェックは必ずすることができません。

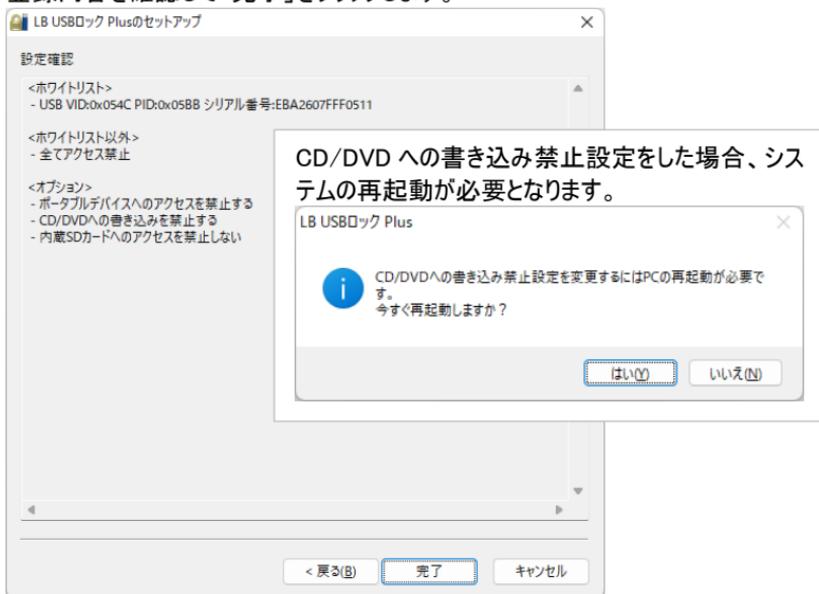
②チェックすると、以下の「選択ボタン」から認証用の機器の選択を行うことができます。次頁参照

③「パスワード」と「USB 機器」の両方を入力すると、オプション(合鍵または 2 要素認証)が有効になります。
※ 「2 要素認証」を選択した場合、合鍵の機能は利用できません。

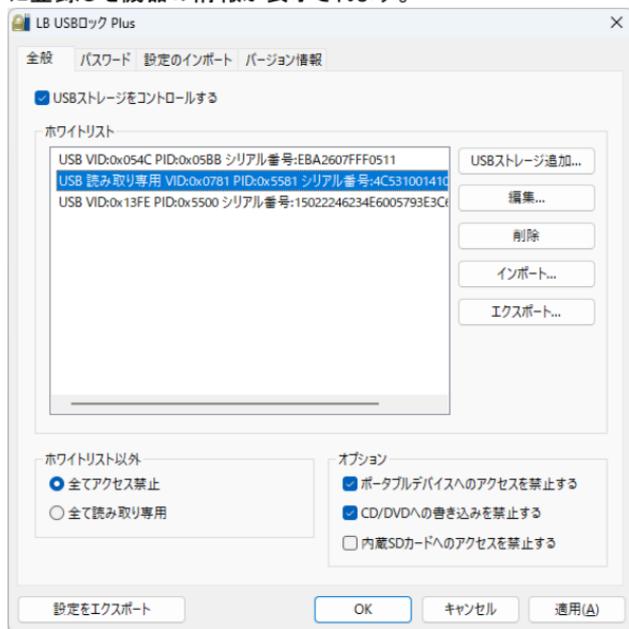
前頁の「USB機器を設定する」をチェックして「選択」をクリックした場合、以下の画面が表示されます。「選択」をクリックすると、認証に利用可能な接続中のUSB機器が表示されます。一つ選択して「OK」をクリックします。



7. 登録内容を確認して「完了」をクリックします。



8. 「スタート」から『LB USBロック Plus』のユーティリティを起動すると、「ホワイトリスト」に登録した機器の情報が表示されます。

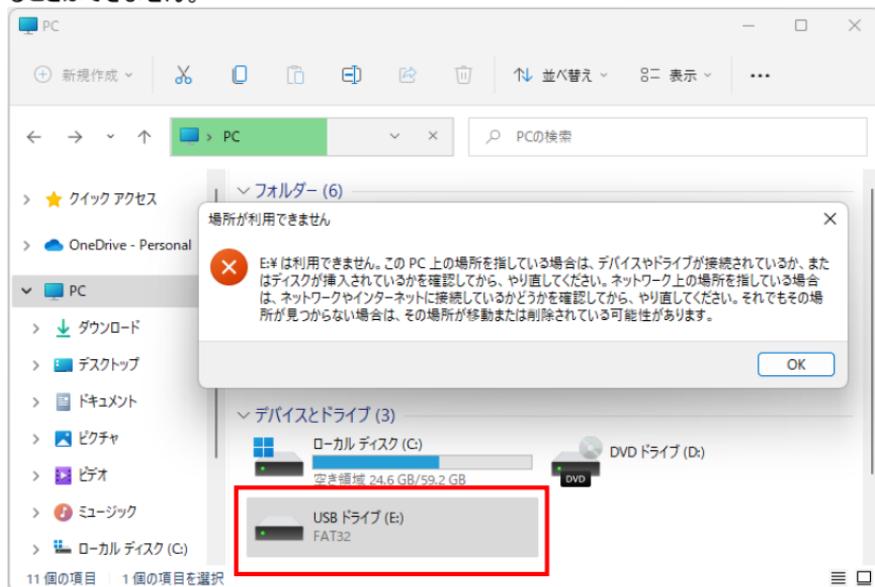


4. 動作の確認

はじめに、ホワイトリストに登録したUSB機器をPCに接続して、ドライブにアクセスしてください。通常通りに使用することができます。

次にホワイトリストに登録していないUSB機器をPCに接続して、ドライブへアクセスしてみます。

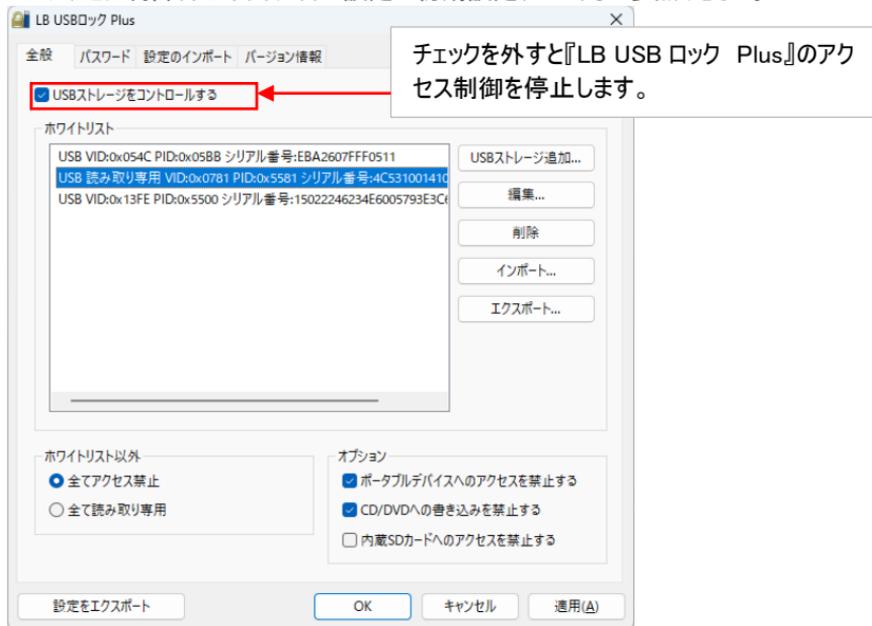
下図の例ではエクスプローラー上には「USBドライブE:」として表示されていますが、ダブルクリックしてドライブの内容を表示すると、以下のメッセージが表示され、実際にアクセスすることはできません。



5. 設定の変更

ストレージのコントロールや認証方法等の設定内容は「スタート」から『LB USBロック Plus』のユーティリティを起動して編集することができます。

※ アクセス制御(ホワイトリスト)の設定は初期設定(P9～)もご参照ください。



<ホワイトリストの編集>

USB ストレージ 追加	USBストレージ追加ウィンドウ(P10と同じもの)が表示されます。 接続されているUSBストレージを選択してリストへ追加します。
編集	リストの機器を選択してID情報と属性を変更できます。
削除	リストの機器を削除します。
インポート エクスポート	ホワイトリストをCSVファイルへエクスポート、CSV形式のホワイトリストをインポートします(P27参照)。

<ホワイトリスト以外>

全てアクセス禁止	リストにないUSBストレージを全てアクセス禁止にします。
全て読み取り専用	リストにないUSBストレージを全て読み取り専用にします。

<オプション>

ポータブルデバイスへのアクセスを禁止する	USBストレージとして認識されない、一部のスマートフォンや携帯音楽プレーヤーのアクセスを禁止します。
CD/DVDへの書き込みを禁止する	CD、DVDディスクへの書き込みを禁止します(USB接以外のドライブも含まれます)。
内蔵SDカードへのアクセスを禁止する	PC内蔵SDカードスロット経由のSDカードへのアクセスを禁止します。

※ 「CD/DVDへの書き込みを禁止する」の設定を変更する場合、システムの再起動が必要です。

内蔵 SD カードへのアクセス禁止について

PC 内蔵の SD カードスロットは、機種により PC 内部での接続方式が異なり、「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」で禁止できないものが存在します。

以下の機器は「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」の対象外になりますが、ホワイトリストに追加してアクセス制御することができます。

- SD カードスロットが PC 内部で USB 接続されているもの
- USB 接続の外付け SD カードリーダー

SD カードスロットが USB 接続であるかどうか、次ページの<接続方式の確認方法>で確認することができます。

<接続方式の確認方法>

下記の URL から USBCheck ツールをダウンロードします。

https://www.lifeboat.jp/products/usb/usb_check.php

このツールはインストール不要で利用できます。ダウンロードしたファイル「USBChck.exe」を実行すると「USBCheck」が起動します。

ツールの**起動後**※、SD カードスロットに SD カードをセットしてください。ハードウェア一覧に表示されたら、そのカードスロットは USB 接続です。利用の可否はホワイトリストへの登録で制御できます。一覧に表示されない場合、USB 接続でないため「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」をチェックして利用を禁止できます。

※ 多数の機器(ネットワークアダプタ、指紋リーダー、Bluetooth アダプタ他)が内部で USB 接続されている可能性があります。これら機器と間違えないために SD カードはツールの起動後にスロットに装着してください。

ベンダーID:	0x0BDA
プロダクトID:	0x0177
シリアル番号:	2012111276100000

表示されているシリアル番号は「カードリーダー」のもので、これをホワイトリストに追加することで USB SD カードリーダーが利用できます。(SD カード自体には USB メモリー同様のシリアル番号がないため個別の SD カードごとにアクセス制御することはできません。)

< 認証方法の変更 >

「パスワード」タブを選択して設定を変更した後、「適用」をクリックします。
(設定の内容はP12をご参照ください。)

LB USBロック Plus

全般 パスワード 設定のインポート バージョン情報

このユーティリティ起動時とアンインストール時に要求するパスワードの設定ができます。
パスワードの代わりにUSB機器を設定することもできます。
両方にチェックを入れると、2要素認証または合い鍵にすることができます。

パスワード

パスワードを設定する

パスワード

パスワード確認

USB機器

USB機器を設定する

ベンダーID: 0x096E
プロダクトID: 0x0201
シリアル番号: 2A75CDB1A167888D

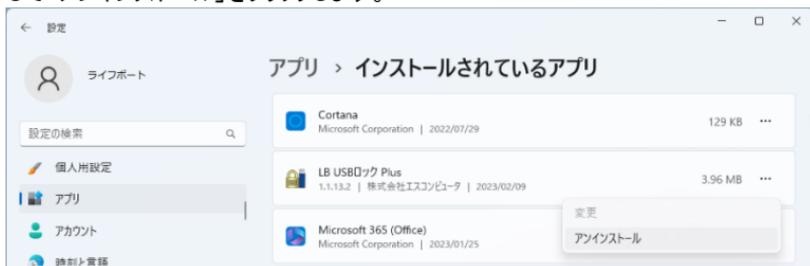
オプション

USB機器とパスワードのどちらか片方だけでロックを解除できる (合い鍵)
 ロックを解除するために、USB機器とパスワードの両方が必要 (2要素認証)

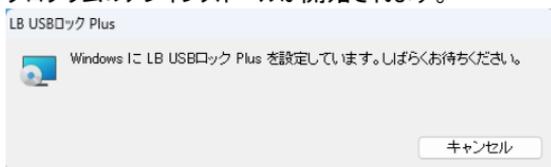
6. アンインストール

アンインストールは管理者権限でWindowsにログオンしてから実行する必要があります。
(下記はWindows 11の例です。他のバージョンのWindowsでは多少異なります。)

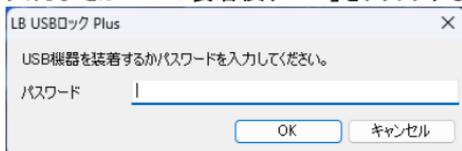
1. 「設定」-「アプリ」-「インストールされているアプリ」から「LB USBロック Plus」を選択して「アンインストール」をクリックします。



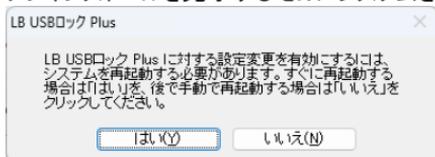
2. プログラムのアンインストールが開始されます。



3. アンインストール保護のためのパスワードやUSB鍵を設定している場合は、パスワード入力、鍵の装着またはその両方を実行してください。
入力またはUSBの装着後、「OK」をクリックするとアンインストールが開始されます。



4. アンインストールを完了するためにシステムを再起動してください。



7. 設定情報のエクスポート／インポート

1台のPCで設定した内容を他のPCにエクスポートすることができます。多数のPCに同じホワイトリストを持つ『LB USBロック Plus』をインストールする場合等に利用します。

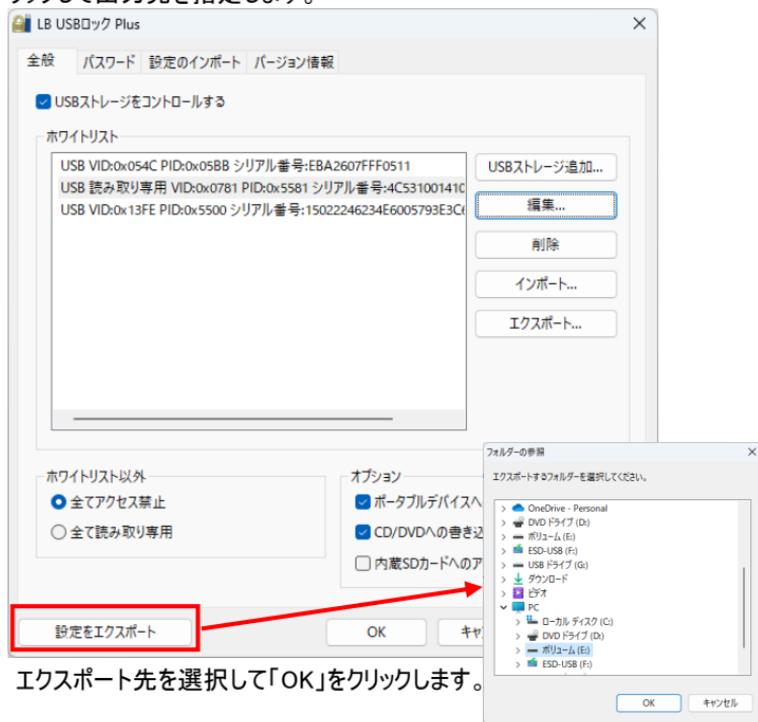
『LB USBロック Plus』以外のソフト(『LB USBロック』、『LB USBロック Pro』)からエクスポートされた設定ファイルを読み込むことはできません。

設定情報のインポートは常にインストーラを起動して実行します。

『LB USBロック Plus』がインストール済の環境に新しい設定を読み込む場合、エクスポートファイルは前回のエクスポート時と同じPCで作成したもの、または、インポート先で事前に作成しておいたものが必須となります。

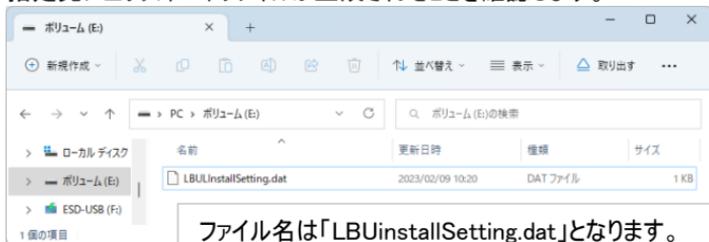
<エクスポートの手順>

1. 「スタート」から「LB USBロック Plus」を起動後、「全般」-「設定をエクスポート」をクリックして出力先を指定します。



エクスポート先を選択して「OK」をクリックします。

2. 指定先にエクスポートファイルが生成されたことを確認します。



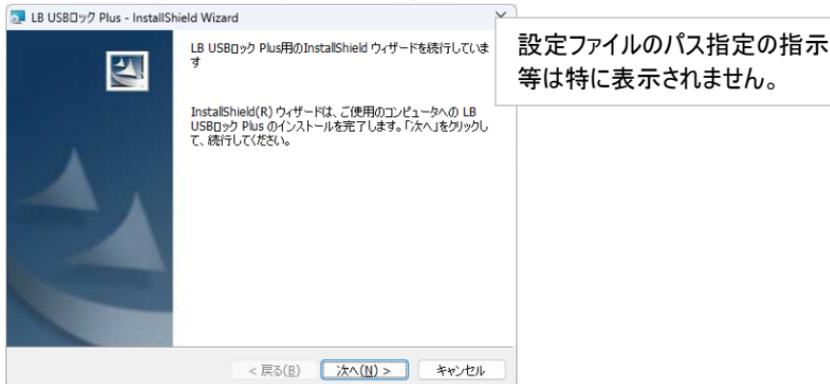
<インポートの手順>

1. ローカルPC上の同じフォルダーに以下3点のファイルをコピーして「LB USBロック Plus.exe」を実行します。

- | | | | |
|----|-----------------------|-----|--|
| A. | LB USBロック Plus.exe | --- | LB USBロック Plusのインストーラ
CD-ROMの¥ul1plusに収録 |
| B. | LBUInstallSetting.dat | --- | エクスポートした設定ファイル
他のPCにインストールされた「LB USBロック Plus」からエクスポートされた設定ファイル。 |
| C. | LBULPlusLicense.txt | --- | ライセンスキー保存用ファイル ※
CD-ROMのフォルダー「¥silent」に収録 |

※ メモ帳等でファイルを開いて、付属のライセンスキーを書き込んでください(キーはダウンロード版は購入時の配信メール、ライセンス版は証書に記載されています)。

2. ウィザードが起動しますので、メッセージに従ってインストールを進めてください。



3. インストール終了、再起動後にWindowsにログオンして、インポートが成功しているか確認してください。初期設定ウィザードが起動する場合は、インポートに失敗していることが考えられます。

- ※ インポートに失敗してもエラーメッセージ等は表示されません。
- ※ ライセンスキーや設定ファイルの読み込みは、サイレントインストール時にも利用できます。

8. サイレントインストール

インストールウィザードの表示やライセンスキー入力、初回起動時の初期設定ウィザードの表示をせずに『LB USBロック Plus』のインストールおよび設定を完了することができます。

<手順>

同じフォルダーに以下3点のファイルをコピーして「ul1plus_silent.exe」を実行します。インストール終了後にシステムが自動で再起動されます。

A.	ul1plus_silent.exe	---	サイレントインストール用インストーラ CD-ROMのフォルダー「¥silent」に収録
B.	LBUinstallSetting.dat	---	設定ファイル ログの記録方法や保存先等の設定情報が保存されているファイルです。 設定ファイル
C.	LBULPlusLicense.txt	---	ライセンスキーファイル CD-ROMのフォルダー「¥silent」に収録 コピー後、メモ帳で開いて、入手したライセンスキーを書き込んでください。

- ※ 設定ファイルを除いた状態でインストールをすることもできますが、その場合、インストール終了後の再起動時に初期設定をする必要があります。
- ※ サイレントインストールをする場合、必ずライセンスキーファイルが必要となります。キーファイルは、CD-ROMからローカルディスクにコピー後、メモ帳等で開いて付属のライセンスキーを書き込んでください(ダウンロード版は購入時の配信メール、ライセンス版は証書に記載されています)。
- ※ ライセンスキーや設定ファイルの読み込みは、通常のインストール時(非サイレント)にも利用できます。

9. 設定の自動インポート

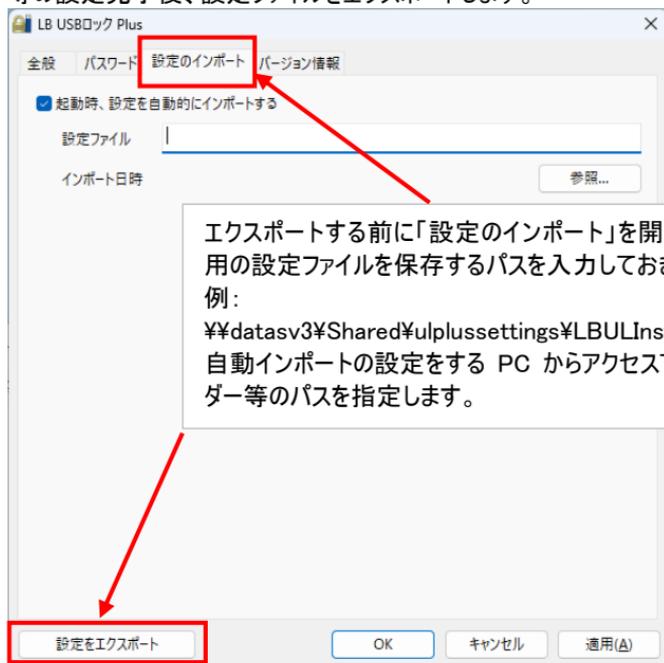
設定の自動インポートは、PCの起動時に、更新されたホワイトリストを検知すると自動的に読み込んで自身の設定情報を更新する機能です。

複数の『LB USBロック Plus』を運用する環境で、ホワイトリストの更新を全てのPCに自動的に適用させることができます。

- ※ 自動インポートを有効にするためには、プログラムの最初のインストール時にインポートファイルを利用したインストールを行う必要があります(P23参照)。
- ※ インポートが実行されると、設定内容すべてが更新され、元の設定内容はクリアされます(差分更新のようなことはできません)。

<自動インポートの準備>

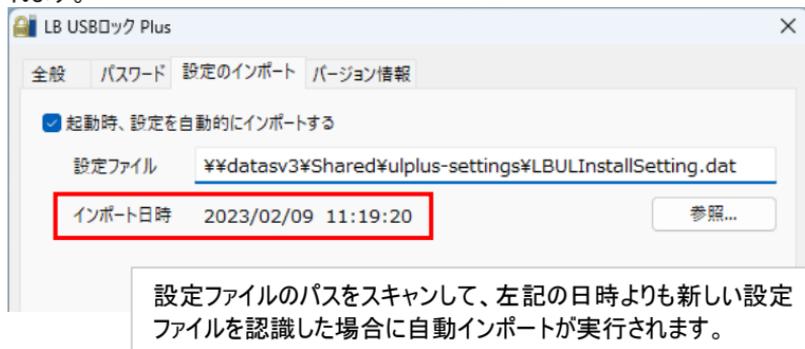
1. マスターとなる『LB USBロック Plus』をインストールしたPCを用意してホワイトリスト等の設定完了後、設定ファイルをエクスポートします。



2. エクスポートしたファイル「LBULInstallSetting.dat」をネットワーク共有フォルダー等に置きます。
3. 自動インポートを利用したいPCに、上記でエクスポートしたファイルを読み込ませて『LB USBロック Plus』を新規インストールします。
設定ファイルインポートによるインストールはP18～20をご参照ください。
※ 自動インポート用の設定ファイルは、インストール時に利用した設定ファイルを作成したPCで作成してください。

<自動インポートのテスト>

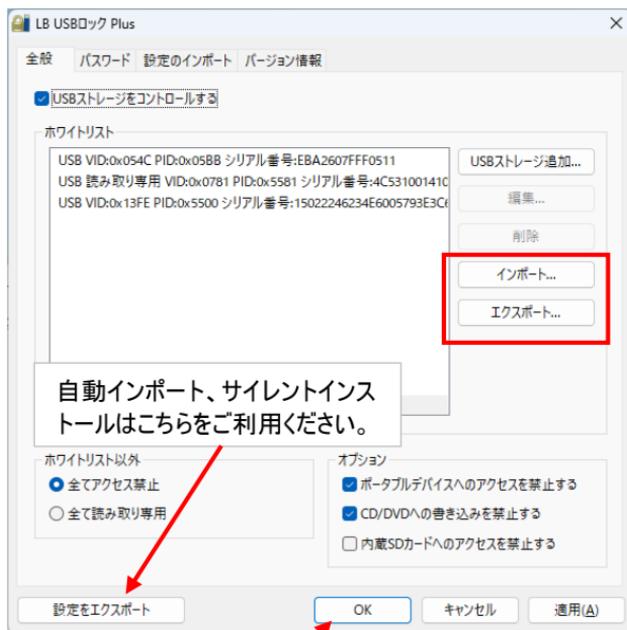
1. マスターとなる『LB USB ロック Plus』(前頁)の設定を変更して設定ファイルをエクスポートします。
2. エクスポートしたファイルを前頁 1. で指定したパス
¥¥datasv3¥Shared¥ulplussettings¥LBULInstallSetting.dat にコピーします。(例の場合)
3. インポートする PC を起動(再起動)します。
4. インポートが成功すると、「設定のインポート」タブの画面にインポート日時が表示されます。



10. ホワイトリストのCSVエクスポート／インポート

ホワイトリストのCSVエクスポート／インポートに対応しました。複数PCへの導入時、配布用のホワイトリストを作成、編集する場合に便利です。

- ※ 扱えるのはホワイトリストに含まれるストレージの情報だけです。CSVを「サイレントインストール」「自動インポート」に利用することはできません。編集したCSVを「サイレントインストール」「自動インポート」に利用する場合はCSVをアプリに読み込んだ後、左下部の「設定をエクスポート」を利用して専用の設定ファイルをご用意ください。
- ※ 文字コードはSJISのみ対応
- ※ インポートを実行すると、既存のリストが破棄されます。現在のリストに機器を追加する場合、はじめにエクスポートを実行してCSVに機器情報を追加後、CSVインポートを実行します。



クリックするとエクスプローラーが起動します。CSV ファイルを指定してください。

インポートの実行後は「OK」をクリックしてユーティリティを閉じると新しいホワイトリストが有効になります。

<ホワイトリストの仕様>

ホワイトリストの編集／作成時は、以下の仕様を参考にしてください。

Excelにて開いたホワイトリスト

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	0	0	0x056E	1	0x605A	0	0708163063AE2D	1	ELECOM	0	MF-USB3	
2	0	1	0x056E	0	0x6049	1	07080A41C1943F	0	ELECOM	1	MF-PKU3	
3	0	1	0x3538	1	0x0901	0	02AB000000000000	0	PQI	0	PQI USB Flash Drive	

列	内容	説明
A	属性	“1”で読み取り専用。“0”で設定なし。
B	ベンダーIDチェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
C	ベンダーID	16進数を表現できる文字で4桁まで。 先頭が“0x”なら無視。
D	プロダクトIDチェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
E	プロダクトID	16進数を表現できる文字で4桁まで。 先頭が“0x”なら無視。
F	シリアル番号チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
G	シリアル番号	
H	製造者チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
I	製造者名	
J	プロダクト名チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
K	プロダクト名	

使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品（以下「ソフトウェア製品」といいます）に関してお客様（以下「甲」といいます）と株式会社ライフポート（以下「乙」といいます）との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品を開封、インストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できませんので、予めご了承ください。

第1条 定義

- ソフトウェア製品
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括していい、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
- プログラム
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
- 関連資料
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

第4条 使用权

- 甲は、プログラムをライセンスに付き1台のコンピュータで使用することができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使用することができる。
- 甲は、本契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
- 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面（パッケージ等）において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

第7条 保証

- ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けることができる。
- 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする。
- 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものとする。

第8条 乙の責任および責任の制限

- プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的な努力を尽すことに限られるものとする。
- 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、またはその他の一切の

損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関しては、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

3. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもとで、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもとで甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

1. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。
 - (1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を通知すること。
 - (2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。
2. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。
 - (1) 甲が乙提供以外のプログラムと組合わせて使用したことに起因するとき。

- (2) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、必要な場合を除き「乙の許可なくソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

第11条 解約および解除

1. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、任意に解約することができる。
2. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。
 - (1) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。
 - (2) 手形交換所の停止処分をうけたとき。
3. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。
4. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用権が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

1. 甲は、使用権の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還しまたは破棄するものとする。
2. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の実事を証明する書類を乙に提出する。

第13条 合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。

LB USB ロック Plus 利用ガイド

2023 年 9 月 1 日

第 4 版

(非売品)

著作 株式会社ライフポート

発行所 株式会社ライフポート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2023 株式会社ライフポート

LB 許可しないUSBメモリー・ハードディスクをシャットアウト
USBロック *Plus*